

ツバメが低く飛ぶと雨が降る？



「ツバメが低く飛ぶと雨が降る」ということわざを聞いたことはありますか？

ツバメはハエやハチなど、飛んでいる虫を捕まえて食べます。雨

が降る前は空気中の水の粒が増えます。すると水の粒が虫の羽につき、虫は羽が重くなるので低く飛ぶようになります。その虫を食べるツバメも低いところを飛ぶようになるので、「ツバメが低く飛ぶと雨が降る」と言われているのです。

このように、自然現象や生物の行動から天気を予想することを「観天望気」と言います。

ゆうや は
夕焼けは晴れ

はる あき ていきあつ こうきあつ
春と秋は、低気圧と高気圧
にし ひがし こうご いどう
が西から東に交互に移動す



ることが多く、天気は西側から変わることが多くなります。西の空にきれいな夕焼けが見られるときは、雲のない領域が西から近づいているので、晴れになりやすいというわけです。

飛行機雲がなかなか消えないと雨が降る



飛行機雲は氷の粒でできています。晴れているときは上空の空気が乾燥しているため、氷の粒は気体（目に見えない状態）となり、飛行機雲はすぐに消えていきます。その反対に、雨が降る前は上空の空気が湿っているため、氷の粒が消えにくく、飛行機雲は空に残ってながくのびます。

観天望気はこの他にもたくさんあって、天気予報のように、当たることもあれば外れることもあるよ。どの観天望気がよく当たるかな？

【この資料やアクティブ・レンジャーによる出前授業の問合せ先】
環境省 竹野自然保護官事務所
TEL:0796-47-0236
FAX:0796-47-0249

